

No.	令和3年度事業計画 〔具体的な事業計画(目標)〕	計画の達成度				目標達成に向けての課題等
		順調	ほぼ ある 順調 で	やや 遅 れて	遅 れて いる	
1	「安定した経営」			○		<p>・令和2年より新型コロナウイルス感染症が流行し、大きな影響を及ぼしています。令和3年6月以降一時沈静化してきていましたが、再び拡大して緊急事態宣言が発せられたためにいまだに新型コロナウイルス感染の影響が出る前の水準に戻ってきていないのが現状であるが、法人全体の収支状況はプラス計上となります。しかし、令和2年度同様に新型コロナウイルス感染症等の補助金交付がなければマイナスとなっています。新型コロナウイルス感染症等の補助金交付については、前年度よりも少なくなっていますが、令和3年度の法人全体のサービス活動収益は新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きかった前年度比約100.7%とほぼ横ばいとなっています。今後は影響前に戻れるように法人全体で安定した経営を目標としていかなければなりません。</p> <p>又、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、通常業務に加えて徹底した感染防止対策の必要もあり、現場の負担が大きくなってきているため、今後は職員の働く環境が悪化していかないようにしていく必要があります。</p>
	①安定した収入の確保			○		<p>・令和2年度、3年度と新型コロナウイルス感染症等の補助金交付があったためにプラス計上となっており、令和元年より3年プラス計上となっていますが、補助金交付がなくなるともプラス計上にしていけるように、さらに安定した収入を継続できるようにしていかなければならない。</p>
	②経費節減	○				<p>・今後とも全施設において積極的に経費削減に取り組んでいきます。</p>
	③財政改善計画の実行				○	<p>・令和元年8月に中長期検討委員会での報告書が承認され、同年11月にプロジェクトチームを発足したが、新型コロナウイルスの感染症の影響で、現在のところ財政改善計画の実行へ進んでいくことができない状況にあります。今後は再構築を検討していく予定です。</p>
	④関係施設間の連携及び情報収集		○			<p>・神栖支部・東村山支部での支部会等で連携や情報収集を積極的に実施しているがコロナウイルス感染拡大に伴い一部一時的に支部会を中止している。連携や情報収集は今後も実施していき、地域社会に信頼される法人・施設を目標としていきます。</p>
⑤会計ソフトの稼働と法人本部事務局及び支部の強化	○				<p>・令和元年7月から会計ソフトを統一して各施設で取り組んでいます。現在、新会計システムで令和元年決算から令和4年度予算まで組むことができました。今後とも効率的に稼働させ各施設と本部事務局の連携を強化していきたい。</p>	
2	「地域における公益的取組を実施する責務」		○			<p>・福祉・医療のニーズが高まる中、社会福祉法人としての責任を果たすべく地域のニーズに応えられるように努力しています。白十字会が目指す福祉・医療サービス等を安心・安全に提供できるようにしていきます。さらに今後とも行政や協議会等と協力し合い、地域社会に貢献していきたい。</p>
	①地域と連携し安全で安心できる施設づくり		○			<p>・地域から信頼される安心・安全な施設をめざすために福祉・医療サービスのニーズに応じて地域と連携を図り、信頼される施設を目指していきます。</p>
	②災害時の地域住民や関係機関との連携強化		○			<p>・当法人の福祉施設等は災害時の地域の要援護者支援という大きな役割が求められており、災害時には、一部の施設においては地域の避難所として支援を行い、関係機関・地域住民と連携して支援を行っていきます。</p>